

# 2026年 新年のごあいさつ 誰もが輝く未来

## ー新たなるステージー

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、市政運営に深いご理解とご協力、温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

「みんながしあわせに暮らせる長井」の実現に向けて

令和6年度からスタートした長井

市第六次総合計画で掲げる市の将来像「みんながしあわせに暮らせる長井」の実現を目指し、本年も各種施策を開いてまいります。この将来像の根底にありますのは、本市名譽市民である彫刻家・故長沼孝三氏の言葉「平和を愛し、共生を尊ぶ長井の心」まさにそのものです。本市は恵まれた自然環境のもと、最上川舟運を通じて日本各地から多くの人や物が集まり、それらを受け入れ、独自の文化を築き上げてきた歴史があります。これまで培われた異文化や多様性を受け入れる地域性を土台とし、持続可能で魅力あふれるま

令和6年度からスタートした長井市第六次総合計画で掲げる市の将来像「みんながしあわせに暮らせる長井」の実現を目指し、本年も各種施策を開いてまいります。この将来像の根底にありますのは、本市名譽市民である彫刻家・故長沼孝三氏の言葉「平和を愛し、共生を尊ぶ長井の心」まさにそのものです。本市は恵まれた自然環境のもと、最上川舟運を通じて日本各地から多くの人や物が集まり、それらを受け入れ、独自の文化を築き上げてきた歴史があります。これまで培われた異文化や多様性を受け入れる地域性を土台とし、持続可能で魅力あふれるま

「みんながしあわせに暮らせる長井」の実現に向けて

夢を育み元気に活躍できる  
まちづくり

本市はこれまで「教育と子育て」を市政運営における大きな柱に位置づけ、児童生徒一人ひとりの個性を輝かせる教育や、子育て世代に選ばれるまちづくりに力を注いでまいりました。同時に、社会構造の変化により衰退しつつある地域コミュニティの活性化に向け、平成31年度までに市内全地区の公民館をコミュニティセンター（以下、コモンセン）へと移行しました。令和3年には法人格を持つ組織を設立し、各コモンセン運営の強化を図るとともに、自主的な地域づくりへの支援や人材育成・運営支援を継続してまいりました。



長井市長 内谷重浩



▲宮・小桜街区の旧丸大扇屋



▲ドイツ・イタリアで開催された国際ユースキャンプ



▲キャリア教育のひとつ  
「起業体験ワークショップ」



▲コモンセンでのいきいき百歳体操



▲児童センターでの活動の様子

風景の国宝と言われる国選定重要文化的景観を構成する「宮・小桜街区」を中心に、まちを歩き、芸術・文化・スポーツといった「あそび」を楽しめる空間整備に取り組みます。具体的には、周辺の空き家を活用したミニ美術館や

中心とした地域づくり、地域みんなでこどもを育てる環境づくりを進めるために、コミセンや児童センターなどとの複合化など、様々な視点から検討してまいります。

また、海外姉妹都市パート・ゼッキンゲン市（ドイツ）をはじめとした国々の青少年が集い、交流を深める「国際ユースキャンプ」の中高生の派遣など、長井の次世代を担うこどもたちに国際交流の大切さ、面白さを学んでもらう機会の創出に引き続き取り組んでまいります。

結びに、本年も皆様からの変わらぬご支援ご協力を願い申し上げますとともに、この新しい年が、皆様にとって希望に満ちた輝かしい1年となりますことを心からご祈念申し上げます。

ち、そして、ダイバーシティやインクルージョンを体現したまちを実現するため、市民の皆様や地元企業、関係団体の皆様と手を携え、全力で取り組んでまいります。